



FAX COVER LETTER

日本モンキーセンター
学芸員 赤見理恵

送信先 報道各位

送信枚数 本紙を含めて 4枚

送信日 2014年 3月 7日

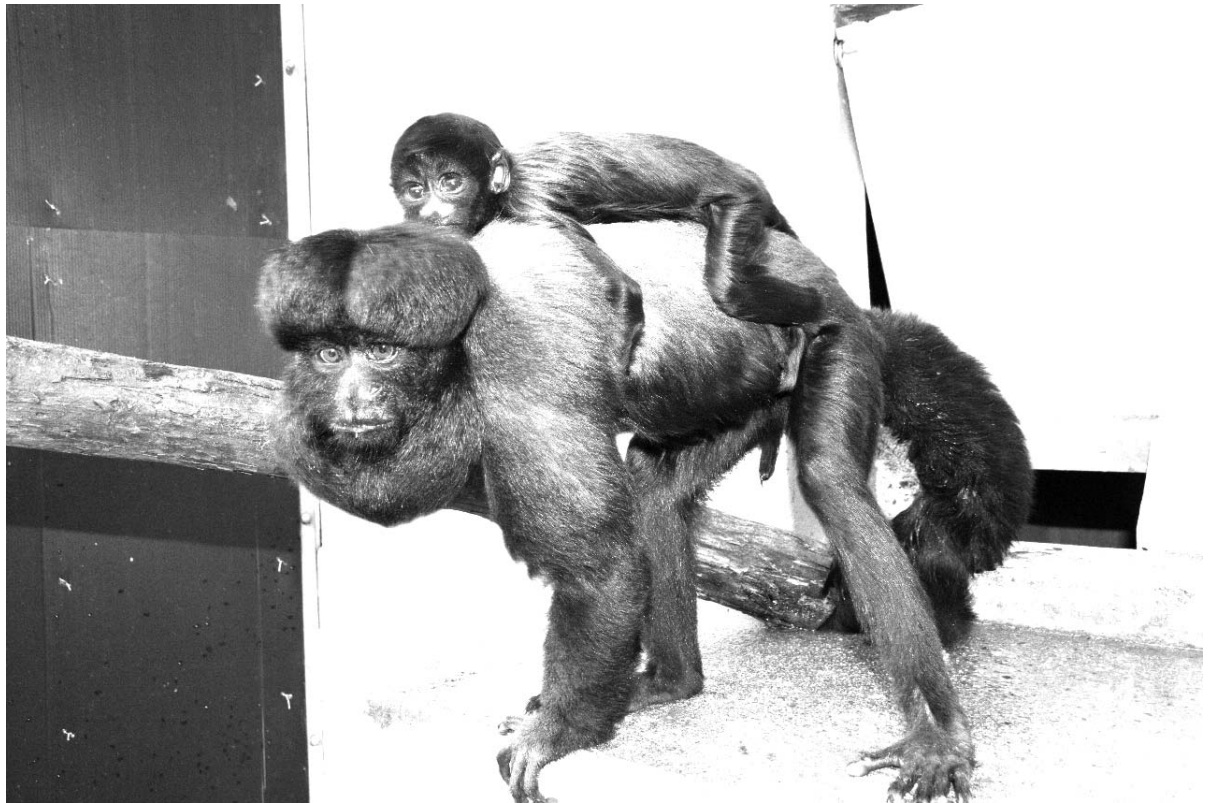
ヒゲサキに赤ちゃんが生まれました！

もう3月というのに寒い日が続きますが、みなさまお元気でお過ごしのことと拝察いたします。

さて、日本モンキーセンターでは2013年11月28日に、とても希少なヒゲサキの赤ちゃんが生まれました。国内でも10数頭しか飼育されていない希少なサルであり繁殖例も少ないことから、静かな環境で子育てができるよう、生後約100日間は報道関係へのお知らせを控えさせていただきました。ご理解いただければ幸いです。

母子ともに安心できる状況となりましたので、お知らせいたします。

ヒゲサキはブラジル北部に生息するサルで、全身が黒く体長は40cmほどです。特徴的なのが、真ん中で分かれた頭の毛と、ふさふさのあごひげです。この頭やあごの毛はオスにもメスにもあり、一度見たら忘れることができないほど印象的です。野生のヒゲサキは生息地の減少などの理由で絶滅の危機に瀕しており、IUCNのレッドリストでは Critically Endangered (近絶滅種)に分類されています。



ヒゲサキの赤ちゃんと母親

★鮮明な写真をデータにてお送りすることも可能です★

■今回誕生した赤ちゃんについて

赤ちゃんの名前： ラカーユ 性別： 不明
生年月日： 2013年11月28日
母親： 2013年3月14日 東山動物園より来園
父親： 2013年3月14日 日本平動物園より来園
展示場所： 日本モンキーセンター内 南米館

■取材について

展示場所である「南米館」は檻型の展示です。通常は人止め柵の外からご覧いただいておりますが、取材のお申込をいただきましたら、人止め柵の中から檻越しに撮影していただくことが可能です。（動物の状態により変更する場合があります。）

本件に関するお問い合わせは以下へお願いいたします。

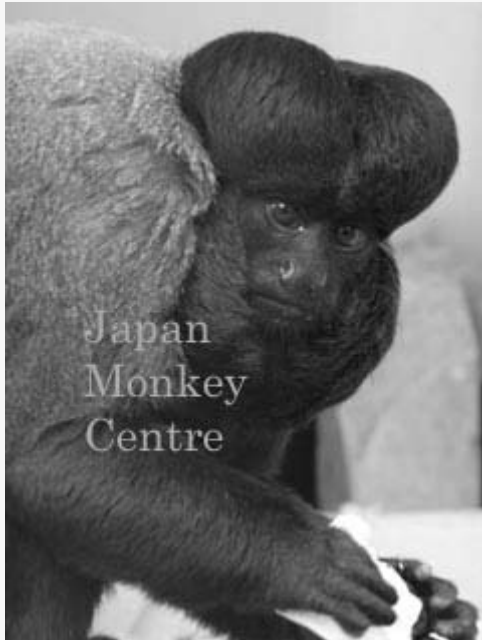
〒484-0081 愛知県犬山市犬山官林 26 財団法人日本モンキーセンター

TEL：0568-61-2327 FAX：0568-62-6823

担当：学芸員 赤見理恵、主任学芸員 高野智、園長 加藤章

日本モンキーセンターのメールアドレス (info@j-monkey.jp) へメールを頂ければ、夜間も含め、毎日確認とお答えをさせていただきます。

ヒゲサキ



英名	Bearded Saki
学名	<i>Chiropotes satanas</i>
CITES	II
IUCN	CR

分布



ベネズエラからブラジルにかけて

会える場所

南米館・屋外ケージ

- 真ん中で分かれた頭の毛と、ふさふさのあごひげが特徴。
- 体長は 40cm ほどで、体重は 3kg ほど。
- 太くて長い尾には、把握性がない。
- 主な食べ物は種子で、果実なども食べる。
- 複数のオスとメスとからなる群れを作る。
- オマキザルなどと混群を作ることがある。

【資料2：追加情報】

他にも、現在「アヌビスヒヒ」の赤ちゃんが人工哺育で育っています。赤ちゃんの名前は「ソチ」。ソチオリンピック目前の1月に生まれたため、名づけられました。



母親が上手に子育てできなかつたため、飼育員が母親替わりとなって人工哺育をおこないました。



健康管理のため運動や日光浴が必要です。天気のよい日には園内の芝生の上で日光浴する姿をご覧ください。取材時に撮影していただくことも可能です。